



**小木直江津航路を含め
たこれからの観光は**



安田 佳世（無所属）

問／小木直江津航路の就航船舶の変更等に係る佐渡汽船との協議の状況はどうか。

答／県と佐渡市を含む4者会議にて、当市の提示条件を佐渡汽船が受け入れたため、就航船舶変更とあかね売却交渉の着手に同意した。今後の佐渡汽船への財政支援は、経営改善の取組状況等を確認しながら、支援を検討する。

問／当市における小木直江津航路の必要性をどう考えるのか。観光にどうかしているのか。

答／小木直江津航路は、佐渡市民の生活航路として、また、当市の観光航路として重要である。佐渡金銀山の世界遺産登録や北陸新幹線延伸による利用増加を期待しているが、就航船舶の変更により利用者数の減少も懸念される。今後も佐渡汽船や県、佐渡市などと連携しながら、旅行費用の低廉化や二次交通の利便性向上等を通じて、航路の利用促進を図っていききたい。

乳幼児教育・保育 量の確保と質の向上を

問／子どもたちの乳幼児教育や保育を担う場が多様化している。園の形態や公立・私立にかかわらず、十分な提供体制を確保していくために、量の確保と質の向上にどう取り組むのか。

答／今後の需給バランスや保護者ニーズに対応していく必要があるが、定員数の在り方等も含め総合的に検討し、適切な体制づくりを行う。



**温室効果ガス
実質的排出量をゼロに**



鈴木 めぐみ（輝）

問／国は2050年までに国内の温室効果ガス排出量を実質ゼロにすると表明したが、市の方針や具体的なアクションプランはあるのか。

答／平成28年3月に上越市地球温暖化対策実行計画を策定し、再生可能エネルギーの利用促進や公共施設の省エネルギー化等に取り組んでいる。令和4年度に策定する次期計画の中で、方針や支援策を含めた具体的な施策等を示していく。

市内温浴施設にピンクリボン温泉の普及を

問／市が所有する温浴施設において、ピンクリボン温泉の普及促進が必要と考えるがどうか。

答／乳がんの手術後も病気になる前と同じように温泉を楽しめる社会環境を整えることは、心身の癒しはもとより、乳がんに対する理解の促進につながる大切な取組の一つと理解する。施設の指定管理者と協議の上、検討を進めていく。

若者や子ども向けの屋外スポット整備を

問／市内の公園に3^{スリ}オン3^{スリ}やボルダリングなど屋外で気軽に遊べる環境を整備する必要があると考えるがどうか。

答／高田城址公園等の基本計画にそのような整備方針はなく、遊戯施設の更新に当たり、地域

からもそのような要望はないため、現段階で整備を行う考えはない。



**極限社会を乗り越える
には攻めの市政を！**



宮越 馨（無所属）

問／人口減少対策には「子ども年金制度」の導入が有効と考えるが、具体的な対策はどうか。

答／様々な少子化対策を切れ目なく講じ、転出超過の解消に資する総合的な取組が必要と認識している。政策を総動員して取り組む。

問／「介護・認知症地獄」が待ち受ける極限社会をどう乗り越えるのか。対応策は万全なのか。

答／小規模多機能居宅介護の充実を図り、介護人材の確保や介護予防・介護の重度化の防止への取組を進め、総合的な認知症施策に取り組む。

問／空き校舎を農都市学校や田園住宅にしては。

答／他への転用を検討し、サウンディング調査等により民間主導の活用方法も模索していく。

問／地籍の未確定地が多い。地籍調査の促進は。

答／未実施の地域全ての実施は難しいため、必要性、緊急性の高いエリアから取り組む。

問／税源涵養策のためのふるさと納税活用は。

答／当市はもう額より出ていく額が多いが、本来の趣旨に沿わない返礼品制度は行わない。

問／都市計画は相当な年数が経過しており、ニーズに合う抜本的な見直しをすべきではないか。

答／過去に一部を見直ししており、今後も適宜見直し、持続可能な都市構造の構築を進めていく。

問／コロナ禍におけるPCR検査体制の拡充は。

答／県の検査体制が拡充されており、市は今回の補正予算の内容を超える支援は考えていない。